

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(重心)

		チェック項目	はい	どちら でもな	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	7	1	重心以外のお子さんと事業所を共有している。	
	2	職員の配置数は適切である	6	7	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	8	4	重症児を受け入れるにあたりスロープを設置した。	室内も車いすで移動できるように段差等は解消していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	6	0	職員会議などで業務改善の提案を行っている。	業務目標管理など職員一人ひとりが改善に向けた提案を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	7	0	事業所アンケートや第三者評価など脳意見を取り入れ改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	6	0	ホームページで公開している	ホームページ内の公開情報欄だけではなく、ブログでも発信を行っていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	5	1	実施している	今年度の受診結果はホームページで公開します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	7	0	事業所内勉強会や研修を行い参加している	人権や感染対策などの研修の機会を毎年実施できるように計画立てて実施していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	7	0	アセスメントシートと保護者要望書を基に課題分析を行い、サービスを提供している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	7	0	事業所で統一されたアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	7	0	デイリープログラムを職員が交代し立案している	月案などでもプログラムが一定にならない配慮します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	7	0	活動は毎回違ったものを提供している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	9	0	長期休暇などではいつもの活動だけではなく、レクリエーションも実施している。	各時期により活動を事業所全体で検討し実行しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	6	0	個別と集団活動を実施し、重心以外の集団活動も参加している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	5	0	朝礼でその日の活動を確認する時間を確保している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	5	0	終礼でその日のうちに利用児支援の内容や家庭について等振り返っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	6	0	ケアコラボで記録を残し保護者と共有している。	印刷していない為、検索しやすい工夫が必要になる。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	6	0	6ヵ月毎に見直しを行っている。	定期的にサービス担当者会議などにも参加している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	6	7	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	5	0	各専門職がサービス担当者会議に参加する機会を作っている	記録を回覧し、参加できなかった専門職にも確認を促している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	8	0	年に1回学校と相談員と各事業所とで会議を行っている	必要に応じて学校に電話で連絡し、状況を共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	5	0	医師の指示書を用いて連絡体制を行っている	リハビリなどの病院見学なども行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	8	1	就学前の事業所との情報共有は行っていない	必要に応じて情報共有を行っていききたいと思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	9	0	そのようなケースがまだいらいっやらない。	今後、このようなケースが出た場合に情報共有を行っていききたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	10	0	法人内の専門職に助言をもらう場合がある。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	10	2	交流の機会はない。	事業所内の交流にとどまっているため、今後は交流を広げていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	10	1	参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	4	0	お迎えの時やケアコラポ内で情報をやり取りしている。	定期的な懇談などを実施し、話しやすい場面を作る必要がある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	8	1	保護者勉強会やペアトレを実施している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	6	0	契約前に全体説明会を行っている。	全体説明会の際にも個々の保護者へも対応は必要と感じている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	7	0	相談を受けた際は助言を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	8	2	父母の会など、保護者同士の交流の機会はない。	交流の機会を提供していただけるように事業所で考えて行きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	5	0	苦情やご意見を受け付け、その内容を通信などで、利用児保護者に発信している。	

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	6	0	会報の発信は掲示の他に配布も行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	9	4	0	個人情報保護に則り、慎重に扱っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	6	0	配慮や援助が必要な場合は手段や方法を検討している	事業所職員が統一してできるように検討も必要
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	9	0	事業所ではなく法人単位で実施している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	6	0	マニュアルを整備し、手の届く範囲においている	保護者には十分周知できていないこともある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	4	1	月に1回避難訓練を実施している。	アクションカードを用いてどの職員も行えるように準備する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	5	0	虐待防止や人権について研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	6	0	身体拘束が必要な場合は保護者に事前に説明を行い実施するとともに、是正に向けた話し合いを行っている	身体的なハンディーキャップにより是正が困難なケースもある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	4	0	アレルギーのお子さんに食事を提供する際は栄養士にも介入してもらっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	3	0	ヒヤリハット・事故報告は事業所内で共有されている	電子での共有のため、書面にして共有を行っている。